

SDGsに取り組む

西館 陽斗

僕は、環境が良くなるという点から、SDGsに取り組んでいくことに賛成する。

SDGsに取り組むということは、自然環境を改善していくということになる。最近の自然環境の問題といえば地球温暖化がある。地球温暖化というのは、二酸化炭素などの温室効果ガスが地球の上空を覆い、地球を温めてしまう現象である。

この現象について、SDGsの十三番目の目標「気候の変動に具体的な対策を」に対して世界は、「脱炭素社会」に向けて様々な対策をしている。

例えば、二〇一五年「パリ協定」では、世界の国々が協力して取り組むことを決めた。また、発電に関しては、風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーを使うことで、より二酸化炭素を減らすことに力を入れている。

また、富山県富山市では、コンパクトシティ（市の中心部に電車やバスなどの公共交通をおくこと）を行うことで、市の中心部でのマイカー使用を抑え、さらに高齢者の移動も楽になっている。

このことから、SDGsの取り組みは、地球環境を守るだけでなく、自分たちの生活や企業のメリットにもつながると考えることができる。

しかし、一人で莫大な費用がかかることや規模の大きなことはできない。でも、海に漂うプラスチックゴミを船に乗って取ることはできなくても、浜辺に流れついたゴミを拾うだけでいいのだ。つまり、身の回りにあるちょっとした問題を解決することで、SDGs達成につながるのだ。

地球温暖化を防止するために、みんなができることは僕たちのすぐ近くにある。それを意識的に取り組み、環境にも自分たちの生活にもメリットとなるようにしたい。